

旭川マヒル

一般社団法人旭川青年会議所 広報誌

2017

INDEX:

理事長対談

第67第理専長

第68代理専長予定者

海老子川 雄介 × 岩井 隆行

わくわく ICE SQUARE in TOKIWA

第58回旭川冬まつり支援事業

第27回 烈夏七夕まつり

第56回旭川夏まつりのフィナーレを飾る事業

旭川ラーメン甲子園2017

旭川創生事業

例会・事業の紹介／

メンバーメッセージ／活動軌跡



第67第理事長

第68代理事長予定者

海老子川雄介 × 岩井隆行

前進から暁へ

海老子川理事長（以降海老子川） 今年度は専務理事、来年度は理事長という事でまずは受けていただきありがとうございます。そこで来年岩井次年度としてはスローガンに「暁」を掲げてどういう事業を予定していますか。まつりで秋にも新事業という想いも見え隠れしているようですが何か意図があるのですか。

岩井次年度理事長候補者（以降岩井） 来年のまつり事務局が自分たちの意思で秋に新事業としてやりたいという申し出がありました。委員会からの意思で言ってきたものに対してはどんどん受け入れてあげたいと考えています。

海老子川 上からの指示でやらされている感が出るよりは良いと思いますね。委員会から想いが出てくるというのは理想ですね。そういうのが多くなると組織の活性化にも繋がるし、そうでなければ新メンバーも入ってこないですね。

岩井 何をやるかはこれから決めていきますが、夏が終わり観光シーズンにも入る10月11月という秋口にもう一つ盛り上がりを作りたいという意見が出てきたのは良いことだと感じました。

海老子川 岩井次年度は、来年一年間でメンバーに対してどういうスイッチを入れたいと考えていますか。

岩井 委員会主導で自らが考えて事業の案を出してやっていくという事。そして楽しく運動を展開するという事があります。また夏まつりに関しては今年から全体事業と位置付けてやっていますが、どこまで移管出来るか解りませんが民間へ移管というところにも近づけていきたいですね。あとやはり地区大会主管立候補が大事だと考えています。組織的には同じ目標に向かって行動をすれば自然に良くなっていくのではないかと思いますね。

海老子川 自然体ですね。

岩井 強制力も必要かもしれませんが強制しなくても自主的に出てくる方が良いと思います。

海老子川 私は活動していない時期があったので活動を始めた限りは激しく活動をしたいですね。少しヒヤヒヤするぐらいの活動をしていた方が現役らしくて良いとおっしゃっていただける先輩もいますね。地区大会主管立候補に手を上げる事も決まったのであとは楽しんで出来るかですね。

岩井 楽しんで出来るかどうか楽しさを見つける

かどうか自分自身ですね。いくらこちらから楽しいからやってみようよと声を掛けても結局やらされ感が出てしまいますよね。自分自身で楽しい所を探して見つけていく事が大事だと思いますね。しょぼくても自分の為にはならないですね。いずれにしても来年は自己満足で終わらないようにしていく事。結果が見て取れるようなものをやらなければ本人たちのモチベーションも上がらないと思います。箱もの例会や講師例会はもちろん大事ですが外へアピールするという点では結果は出ない。箱もの例会や講師例会という勉強の場というのも大事ですが作り上げるまでに委員会がどれだけ勉強して迎えるかという設える側も重要。そうであるならば対外的な事業も同じ。事業をやるまでに調べて勉強をして事業の日を迎えるのであって達成感もある。

海老子川 来年の箱もの例会を設える委員会のハードルが高くなりましたね。いい傾向だと思います。

岩井 来年は議案のフォーマットも変わり記載項目も増えて議案の理事長所信に関わる所はどこのかなどしっかりと考えてやっていかなければいけないですね。

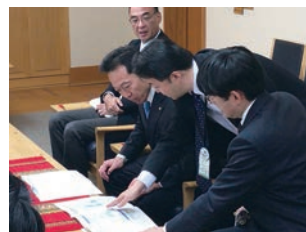
理事長総括

「夢ビジョン」を掲げた2010年代の後半も中盤に差し掛かる今年度は、とにかく前に進もうと、「前進」をスローガンに様々なことにチャレンジしてきました。

とりわけ力を入れたのが中心市街の活性化であります。私たちの先輩諸兄が創った日本で初めてとなる恒久型歩行者天国「買物公園」。地域の代表的な季節のイベントとなっている烈夏七夕まつりや旭川冬まつりをはじめ、これまで旭川青年会議所はわが街の顔となる中心部の賑わいを創ってきました。一方で旭川市は2016年度末をもってインフラ整備中心であった中心市街地活性化基本計画を終え、今年度新たな基本計画の策定を控えています。

今年度の旭川青年会議所としては、新たな基本計画の策定に様々な展開を通じて関わることで、メンバーがまちづくりの担い手として活躍の場を広げることができるのではないのでしょうか。組織を進化させる。「前進」にはそういう思いを込めました。

冬まつり支援事業では開園100周年を記念して常磐公園で再び賑わいを創り、烈夏七夕まつりでは買物公園に笹短冊を設置。買物公園ができた頃の街の勢いを感じさせてくれた総務委員会による「買物公園例会」。一杯をかけて高校生が買物公園に集結した「旭川ラーメン甲子園」。さらには新会員による例会テーマも「常磐公園」、親睦事業もまちなかゴミ拾いラリー。まちなかの活性化につながる取り組みをメンバー挙げて徹底して行ってきました。



私自身も理事長公職として基本計画策定に関わる中心市街地活性化協議会分科会のコーディネーターを預かり、合計6回の分科会を経て基本計画のテーマを策定し、今後の方向性となるまちなかのソフト事業を行う上で旭川青年会議所が役に立つ存在であることを訴えてきました。11月13日には旭川商工会議所新谷会頭とともに西川市長を訪れ、計画案に対する意見書を提出し、中心市街地の活性化の取り組みについて、今後いっそう旭川青年会議所が深く関わっていけるつながりを結んでまいりました。

理事長やって悔いなし。今年度、私のこだわりやわがままにおつきあいいただいた三役、理事、メンバーの皆さんには本当に感謝し、また温かく見守っていただいた先輩諸兄にはさらに深い感謝を申し上げ、暁の男、次年度理事長である岩井隆行さんにバトンを渡したいと思います。2018年度は地区大会主管立候補を控えています。JCという素晴らしい仕組みをフルに使ってわが街、旭川のさらなる発展を実現させましょう。一年間ありがとうございました。

わくわく ICE SQUARE in TOKIWA

旭川冬まつり支援事業の継承

冬まつり事務局では JC ブースの設置場所を 2016 年に開園 100 周年を迎えた常磐公園へと会場を移動し事業を開催いたしました。

冬を彩る「まつり」を盛り上げるべくイルミネーションの設置や氷彫刻体験、冬あそび体験、旭山動物園 50 周年・常磐公園 100 周年パネル展示、旭川市 P T A 連合会との共催「キャンドルナイト in TOKIWA」など「観る」「学ぶ」「体験する」コンテンツを行い「冬の楽園 あさひかわ」を大いに感じ「笑顔」が溢れる事業となりました。

ボランティアスタッフ募集について

旭川青年会議所冬まつり支援事業では、楽しい仲間と共に旭川を愛し、多くの人々がふれあい、楽しむ場所を一緒に提供する「冬まつりボランティアスタッフ」の募集を行っております。冬の魅力を一緒に発信していきましょう。



氷彫刻体験に集まる子供たち



冬遊び体験の中での王道、ソリ滑り



「キャンドルナイト in TOKIWA」



旭川を訪れる方々へウェルカム雪だるま

旭川の夏を盛り上げる感動のまつり!

旭川青年会議所では毎年旭川夏まつりの時期にあわせて「烈夏七夕まつり」というまつりを開催しています。このまつりは 1991 年に第 1 回を開催し、平成 29 年度で 27 回目を迎えました。夕方から夜にかけて昭和通りを約 25 台の山車が練行し、和太鼓の音や山車の周りで踊る跳人たちがさらに鮮やかに彩ります。

烈夏七夕まつりにあわせて一般市民の皆様にも和太鼓や跳人の体験をしていただける「体験和太鼓」「体験踊り」も行っています。和太鼓を叩いたりお祭りで踊ったりする機会は他にもあるかもしれませんが、昭和通りで多くの市民の方々に見ていただきながらこのような体験をする機会はそうはないのではないかと思います。楽しんで毎年参加してくれている方も少なくありません。



躍動感あふれる跳人の踊り



迫力あふれる和太鼓の共演



体験踊り練習会に参加し本番を迎えました



体験和太鼓で練習し来場者の前での演奏

烈夏七夕まつり



10月第一例会 担当／旭川創生委員会

旭川の中で郷土愛を叫ぼう ―青少年から創めるまちづくり―

中心市街地「5条買物公園」で高校生が躍動！

旭川の食文化である旭川ラーメンを使った青少年教育の一環。昨年、旭川空港50周年記念事業として開かれたイベントで多くの方々からの反響があり、単年度で終わらせるにはもったいないことから、今年度旭川青年会議所が青少年育成と中心市街地活性化の一環として旭川大学の江口ゼミナールと主催しました。平和通買物公園の旭川フードテラス前で開催し、市内と近郊の高校6校が参加し、市内ラーメン店とチームを結成し、オリジナルラーメンを共同開発。道産の食材を使うルールにのっとり実際にラーメン店に高校生が修業を行い試行錯誤のうえ、オリジナルのラーメンを完成させました。

限られた時間の中でそれぞれが用意したラーメンを合計で1800食を実演販売し、来場者の投票により優勝校を決定致しました。



チームワークを発揮して各校300食のラーメンを作った。



ラーメンを通してチームワークを発揮しました



修行の成果をスープに込めました



麺の仕上がりに自信があります

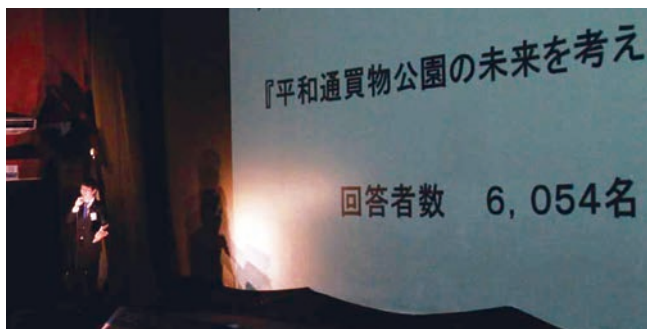


声が枯れるほど呼び込みも頑張りました



たくさんの方々にご来場くださいました

平和通買物公園「出発～現在～未来への前進」



買物公園を盛り上げたい。そのために…

旭川の中心市街地活性化を目指し、平和通買物公園に着目した例会をシアターカンダにて開催しました。

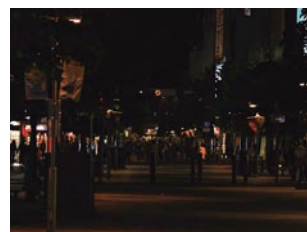
旭川青年会議所全体が中心市街地活性化に挑むための後押しができるようにと考え、総務委員会という旭川青年会議所の裏方を担う委員会で構築しました。

例会内では、完成するまでの大変な努力や、平和通買物公園に対する強い想いにふれ、さらに市内高校生を含む一般の方々にご協力いただいた6,671枚という多くのアンケート結果をもとに、お招きした平和通商店街の方々、市職員、一般市民の方とともに平和通買物公園の未来について議論を行いました。

買物公園に関わる多くの方にご協力いただきました



買物公園の飲食店にて



今進 imagine いま、地域資源を想う



自分たちで調査したエビデンス資料を発表



緊張感の中のプレゼンテーション

19名の新会員がまちづくりを真剣に考える

人財委員会新会員による10月第二例会が10月27日にアートホテル旭川にて行われました。この新会員例会は新会員にとって集大成となる例会でした。

入会同期のメンバー同士で熱く意見を出し合い、ぶつかり合いながらも励まし合い、例会の構築に取り組んで参りました。そして例会では中心市街地からはじまる地域づくり、街づくりに対しての新たなビジョンが生まれるという可能性を信じて、私たち新会員は中心市街地常磐公園が活性化することで駅前から常磐公園の線に賑わいを作れるのではないかと考え、中心市街地にある旭川を代表する公園でもある常磐公園にスポットライトをあて、歴史と現状の調査結果と新会員が考える新たな未来予想図、今ある素晴らしい魅力を発信しました。はじめは新しい何かを考えることが地域活性化に繋がる最も重要なことと考えていましたが例会を作り込む中で今の魅力を多くの人に発信していくことも未来へと繋がる第一歩であり地域活性化に繋がる大切な事だと感じました。



J-WALK - 何もかも言えたよ…夏 -



肩を寄せ合い、語り合いながらのゴミ拾い

常磐公園・さんろく街・旭川駅裏の河川敷でゴミ拾いを行いました。

親睦事業として開催されたのですが、我々が注目すべき中心市街地での仕掛けと、青年会議所の3信条である「修練・奉仕・友情」を念頭に置き、中心市街地への奉仕を通して友情を深めるといふねらいで実施しました。

当日は多くのメンバーが集まり、皆で足並みをそろえて歩き、ゴミ拾いしながら語り合いました。



中心街で烈夏のハッピを着てゴミ拾い



河川敷で仲間と語り合いながら

1月第二例会 市長例会 担当／政治経済委員会

若者の活気に満ちたまちづくり



市長と一緒に旭川の未来を考える

例会で何を取り上げるべきか。委員長をお引き受けした時から悩み続けました。考え抜いた結果、旭川が魅力あふれる街であるためには若者の活気に満ちた街になることが重要であり、そのことをメンバーに自分事として捉えていただきたいという結論に至りました。

例会を構築していく中で、どうすれば委員会の想いを伝えることができるのか。幾度となく議論を重ねました。自分の想いが弱いのか、うまく伝え切れていないだけなのか、答えがなかなか出ずに途中で逃げ出したくなったこともありました。その度に委員会メンバーが支えてくれて、力を貸してくれて、前に進めたこと、前進できたことには感謝しかありません。また、例会に多くのメンバーが参加してくれたことは、嬉しかった。うまく伝えられたのか不安なところもありましたが、委員会の「若者の活気に満ちた街にしたい」という想いは確実に伝わっていると確信しています。

4月第一例会 担当／旭川創生委員会

地域資源が育む郷土愛～人と人が繋ぐ地域の魅力～



旭川から世界への発信～海外と旭川をつなぐ企業

旭川創生委員会は、社会に出る一歩手前の世代である高校生に着目し青少年育成運動を進めてきました。「知る」→「体験する」→「実践する」という年間スキームで、旭川の魅力的な地域資源を理解し、郷土愛を醸成してもらうための例会・事業を展開して参りました。4月第一例会では「地域資源が育む郷土愛～人と人が繋ぐ地域の魅力～」と題し、100名を超える方々にご来場頂きました。例会後のアンケートでは、旭川が家具の産地であることを知らない高校生が大半を占めていたことに驚きました。子供達に地域の魅力を伝えるためには、大人たちも学び、行動し続けなければならないことを痛感させられた例会でした。青少年育成に模範解答はなく、手探りでやってきた委員会活動。結果は10年、20年先になるかもしれないが、一人でも多くの高校生が我々がやってきた例会をきっかけに、郷土愛が芽生え、この旭川の広告塔になってくれればと切に思います。

STOP 人口減少！ 今年度、旭川青年会議所は旭川市と移住機能強化促進事業を行っています

移住体験ツアーを企画

移住の下見を兼ねた移住体験ツアーは、青年会議所メンバーの幅広い業種によって地域のイベントや仕事見学、不動産見学などが体験でき、テーマに応じた内容。11月までに18名が参加しています。



移住体験ツアーに向けて何度も打ち合わせを重ねました

旭川への移住を検討している方向けの相談会を開催

10月に名古屋で移住希望者向けのセミナー「旭川・くらしフェア」を開催しました。二組の移住希望者の相談に応じました。北海道食材を扱うビストロや旭川家具ショップを貸し切り、自治体が行う移住説明会とは違った雰囲気で行いました。

12月には南青山のカンディハウス東京ショップにて旭川市職員、地域おこし協力隊、カンディハウスと連携して「旭川・くらしフェア in 東京」を開催します。



当日は2組の移住希望者が訪れ、理事長と長井室長が仕事や子育て環境を中心に相談に応じました

今年は旭山動物園開園50周年 マイスターボランティアによるプレミアムツアーを実施

旭山動物園の開園50周年を記念して旭川市経済観光部およびクラブツーリズムと連携し、マイスターボランティアが監修したスペシャルツアーを実施しました。



夏休み期間中、全国から200名を超える参加者が利用しました



マイスターボランティアスタッフが編集制作したガイドブックも作成し、ツアー参加者に配布しました



旭山動物園の見どころ、園内のおすすめルート案内などボランティアスタッフならではの情報が満載！

2月第二例会 担当／人財委員会

『ONE FOR ALL, ALL FOR ONE』

～1人は皆のために、皆は1人のためにスポーツに学ぶ組織力～



一つの目標に向かって、個々の役割とチームのルール

私たちは日頃より組織の中で活動しており、その組織の機能は個々の資質と連携に大きく関係すると考え、組織の一員である認識を高め、互助の精神を醸成する事、率先して行動する正しい気概を醸成する事を目的に掲げ実施しました。

旭川実業高等学校のサッカー部顧問、富居徹雄教諭をお招きしての講演やパネルディスカッションが行われました。サッカー部員総勢 73 名を束ねる組織力やリーダーシップ力だけではなく、チームとして作り上げる秘訣などお話をいただきました。



富居監督(左) 新谷委員長(右)

7月第一例会 担当／旭川創生委員会

そうだ! 地元を知ろう!! 魅力いっぱい旭川体験バスツアー



青少年の地域資源を探る体験バスツアーの旅

旭川を代表する産業である「酒」「ラーメン」「観光」に着目。民間企業の協力のもと高校生自らが現場を訪れることで、地域資源を五感で監事理解できるプログラムで催行しました。この例会をきっかけに一人でも多くの高校生が地元の魅力に気づき、郷土愛が芽生えてくれることを願います。

社会に出る一步手前の世代である高校生に着目し青少年育成運動を進めてきました。「知る」→「体験する」→「実践する」という年間スキームで、旭川の魅力的な地域資源を理解し、郷土愛を醸成してもらう為の例会・事業を展開して参りました。青少年育成に模範解答はなく、手探りでやってきた活動の結果は10年、20年先になるかもしれないが、一人でも多くの高校生が我々がやってきた例会をきっかけに、郷土愛が芽生え、この旭川の広告塔になってくればと切に思います。

9月第一例会 担当／人財委員会

『ZERO TO ONE』～"0" から "1" を生み出す力～



フロンティアスピリットで挑戦し続けることの大切さ

まちづくり団体として更に組織運動を前進させるために、前向きな選択ができるチャレンジ精神、新しい事を築き上げるフロンティア精神を醸成する事、地域との関わりから新たな地域活性化の手法を学ぶ事を目的に掲げ実施しました。



VチャレンジリーグII ヴォレアス北海道の選手の方々

まちづくり・人づくり支援事業 担当／政治経済委員会

旭川ナナカマド基金



旭川のまちづくり・人づくりへ活動資金の助成

まちづくり・人づくりのために積極的な活動をする市民団体やボランティア、旭川の活性化を目指す団体を応援したい想いから、2013年10月28日に設立し、毎年たくさんの応募をいただいております。今年度の助成対象団体様は、「旭川ラーメン応援チアダンスプロジェクト」様、「北条会」様の2団体に決定させていただきました。

基金の沿革

2014年度～旭川地区サッカー協会 第3種事業委員会

2016年度～WORKSHOP COLLECTION /

特定非営利活動法人もりねつと北海道

2017年度～旭川ラーメン応援チアダンスプロジェクト/北条会



広報誌ナナカマドの由来

1964 年、旭川青年会議所は、緑橋通りの緑化運動を行い、ナナカマドを植樹しました。ナナカマドの木は、現在ではイルミネーションで美しく飾られ、緑橋通りの象徴となっていますが、植樹が契機となり、1976 年ナナカマドが、「旭川の木」として制定されました。以上のことからナナカマドは、旭川青年会議所の歴史を作った木でもあり、広報誌の名前も「ナナカマド」となりました。

お問い合わせ先 平日10:00～17:00まで

TEL.0166-22-9815

(一社)旭川青年会議所まで

旭川 JC

検索

<http://www.asahikawa-jc.or.jp/>

過去の広報誌は
WEB サイトより!



メンバーからのメッセージ

JC 運動を通じて、同年代の社会人達が、かけがえない友情や信頼関係、自分自身の成長を実感しながら充実した活動をしています!



2015年度入会

新谷建設(株)
専務取締役

新谷 逸生

私は 2015 年に入会し、3 年が経過しました。昨年度、今年度と会員拡大を担当し、数多くの企業・団体を訪問し青年会議所の魅力をお伝え奔走してきた中で、沢山の素晴らしい出逢いをいただきました。自らが手を伸ばせば、個人、地域、国際、ビジネスといった様々な機会が得られる青年会議所ですが、在籍して強く感じることは、人と人のつながりへの感謝です。同郷の同世代の仲間とともに切磋琢磨しながら地域を想い運動を展開する過程はとても尊い時間です。これからも新しい出逢いに期待しつつ、素晴らしい仲間とともに楽しみながら地域のため行動を起こしていきたいと考えております。



2016年度入会

(株)ノーザン

後藤 啓輔

入会のきっかけは弊社代表の勧めでした。入会してから積極的に事業、例会、地区大会、直会に参加しました。すると全ての活動が地域づくりに繋がっていることに気が付き、それからは目的を持って主体的に取り組みました。仕事との両立が大変な時もありましたが、劇的に内容の濃い生活に変化しました。40 歳までの限られた時間、色々な気づきを学べて良かったと思っています。今後も「出来るか、出来ないか」ではなく「やるか、やらないか」を胸に会社や地域のファーストペンギンになれるよう自分自身を磨き、今後も率先して行動します。



2017年度入会

(株)グッドフン
常務取締役

西脇 務

J C に入会し約 1 年が経ちました。当初はどんな活動をしているのだろうか?軽い興味心で入会した私ですが様々な活動を経てたくさんの『気づき』をいただきました。それは何事にも『人』は諦めてはいけな。『やれば出来る』という強き精神です。挑戦すれば必ず道は開けるのだと。

時には逃げ出したい時もありましたが、そんな時『前進』させてくれたのが仲間です。今振り返るとまさに『修練』『奉仕』『友情』を胸に行動する大切さを感じた日々でした。まだまだ未熟者ですが今後も楽しく活動していきたいと思。います。

2017 年度の活動軌跡

月に数度の例会や各事業を通じて自分自身を高めるための修練、社会とのつながりが深まる奉仕、ほかでは得られない仲間との友情を育みながら、旭川の明るい社会の実現のために活動しています。

1 月	定時総会／新年交例会／卒業生を送る夕べ (公社)日本青年会議所 京都会議 1 月第二例会 市長例会 若者の活気に満ちたまちづくり	7 月	北海道地区協議会 第 48 次北方領土返還要求現地視察大会 7 月第一例会 そうだ!地元を知ろう!魅力いっぱい旭川体験バスツアー (公社)日本青年会議所 横浜サマーコンファレンス 2017
2 月	第 58 回旭川冬まつり支援事業 わくわく ICE SQUARE in TOKIWA 大雪会議～拡大先進エリア道北への道～ 2 月第二例会 ONE FOR ALL, ALL FOR ONE ～一人は皆のために、皆は 1 人のために、スポーツに学ぶ組織力～	8 月	8 月第 1 例会 第 27 回 烈夏七夕まつり～未来へ紡ぐ創始の想い～
3 月	3 月第一例会 新会員仮配属式 3 月親睦事業 温泉例会 ZENSHIN all night ～気持ちは清らかに 身体すべてぶつかりあい 前へ進もう～	9 月	9 月第 1 例会 『ZERO TO ONE』～"0" から "1" を生み出す力～ 臨時総会 北海道地区協議会 第 66 回北海道地区大会 釧路大会 定時総会 (公社)日本青年会議所 第 66 回全国大会 埼玉中央大会
4 月	4 月第一例会 地域資源が育む郷土愛～人と人が繋ぐ地域の魅力～	10 月	10 月第一例会 旭川の中心で郷土愛を叫ぼう ～青少年から創めるまちづくり～
5 月	5 月第一例会 平和通買物公園「出発～現在～未来への前進」 北海道地区協議会 北海道 JC フォーラム 2017 - HOKKAIDO POTENTIAL	11 月	11 月事業 じもと×しごと発見フェア 旭川開催 11 月第一例会 創立 67 周年記念式典・祝賀会 11 月第二例会 卒業生例会 全力前進
6 月	6 月親睦事業 J-WALK ～何もかも言えたよ...夏～	12 月	12 月第一例会 2018 年度各委員会よ 暁にほえる! 12 月親睦事業 JC クリスマスパーティ